



がん検診を受けましょう

本市における死亡要因は、がん（悪性新生物）が最も多く、次いで心疾患、脳卒中（脳血管疾患）の順に続いており、これら3つの疾患で死亡要因の約5割を占めています。どの病気も生活習慣と深く関連している病気です。

普段の小さな心掛けが予防につながります。各種がん検診などで自分の体の状態を確かめ、生活習慣病予防に役立てましょう。

《申し込みについて》

平成25年度にがん検診などを受診するには、申し込みが必要です。2月初旬ごろに各世帯に送付される「がん検診等申込票」に記入の上、2月28日（木）までに市民健康課、各支所市民生活課または各地区コミュニティセンターに提出してください。

＊前立腺がん検診、肺がん検診は対象の方全員に通知しますので、申し込みは不要です。

＊肝炎ウイルス検診は、検診前に広報紙でお知らせします。

＊地域によって検診方式や実施時期が異なりますが、市内のどの地域でも受診できます。

■平成23年度検診受診状況

項目	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん	前立腺がん
受診者数	5,139	7,644	14,242	5,653	4,054	5,709
要精密者数	515	671	211	43	163	478
【参考】平成22年度がん発見者数	10	15	15	3	9	16

■申し込みが必要な各種がん検診など(平成25年度)

検診名	対象	料金(予定)		実施時期(予定)
		集団検診	個人検診	
胃がん検診	40歳以上の男女	集団検診	750円	5～9月
大腸がん検診	40歳以上の男女	集団検診	550円	5～9月
腹部超音波検診	40・45・50・55・60・65・70歳の男女	集団検診	1500円	5～9月
子宮がん検診	20歳以上の女性	病院検診	1300円	8～12月
		集団検診	650円	8～9月
乳がん検診	30歳以上の女性	集団検診	3500円(30歳代)	8～9月
			2100円(40歳代)	
			1050円(50歳以上)	
骨粗しょう症検診	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	集団検診	600円	8～9月

*ここでの年齢は、平成25年4月2日～平成26年4月1日までに達する年齢のことです。

検診の申し込みから結果を受け取るまでの流れ

2月初旬ごろに申込票が各世帯に届きます。

2月28日(木)までに申込票を提出してください。

検診前に受診票が届きます。

受診票を持って検診にお越しください。

1～2カ月後に検診結果をお知らせします。

●問合先

- | | | | |
|--------------------------------|-----------|--------------------|-----------|
| 市民健康課健康指導南部グループ
(川内保健センター内) | ☎(22)8811 | 祁答院支所市民生活課健康福祉グループ | ☎(55)1111 |
| 樋脇支所市民生活課健康福祉グループ | ☎(37)3111 | 里支所市民生活課健康福祉グループ | ☎(3)2311 |
| 入来支所市民生活課健康福祉グループ | ☎(44)3111 | 上甕支所市民生活課健康福祉グループ | ☎(2)0391 |
| 東郷支所市民生活課健康福祉グループ | ☎(42)1111 | 下甕支所市民生活課健康福祉グループ | ☎(7)0380 |
| | | 鹿島支所市民生活課市民福祉グループ | ☎(4)2211 |

修学旅行生との交流が楽しい!

グリーン・ツーリズムを一緒に楽しみたい

4月の大阪府吹田市立第三中学校をはじめ、今年度はこれまでに、5中学校、3高校、合計1149人の生徒を受け入れました。



あくまき作り



山芋掘り



砂丘サラダ玉ネギ収穫

樋脇ブロック 坂口 利満さん
受け入れを始めて2年。いつも我が家に来る子どもたちが満足な農業体験が出来るか心配になります。子どもたちの性格もさまざま。最初は難しいですが、体験や会話を通して笑い声や、「また遊びに来ます」などの言葉を聞く嬉しくなります。これからもお互いに感動体験ができるよう努力していきたいと思えます。

○稲作(種まき・稲刈り・脱穀)、野菜植え(ナス・ピーマン・サツマイモ)、栗拾い

入来ブロック 宮園 典子さん
毎回の受け入れを、我が家の中学・高校の孫と共に楽しみにしています。農業などの体験を通して子どもたちが感動する姿が私たちの元気の源です。これからも新しい出会いと感動、子どもたちの成長と再会を楽しみに受け入れを続けたいです。皆さんも参加してみませんか。

○野菜の収穫、稲作(種まき・稲刈り・脱穀)、草履作り、郷土料理作り

東郷ブロック 松坂 ヨシ子さん
受け入れを始めて3年。最初は緊張していた子どもたちが、帰る頃には涙を流したり、「また来ます」と言ってくれ、いつも新鮮な思いにさせられます。受け入れ時間は短いです。孫の帰省のように私達も楽しみや元気をもらいながら、生徒には楽しい修学旅行の思い出の1ページとなるよう接しています。

祁答院ブロック 中山 勝雄さん
修学旅行生の受け入れは一期一会。子どもたちは知らない人の家で寝食を共にし、農業体験をして帰って行きます。体験内容が初めてで最初は戸惑いますが、帰る頃には満足そうな笑顔を見せてくれます。受け入れて良かったと思える瞬間です。その笑顔が私達の喜びです。こういう出会いがあるから受け入れは楽しいです。

○花・野菜の苗物生産作業(播種・芽出し苗の植え替え・挿し木)

グリーン・ツーリズム推進協議会では受け入れ農家を募集中です!

同協議会は、主に中学校・高校の修学旅行の体験学習に伴う農業体験や民泊体験の受け入れに取り組んでいます。生徒と触れ合うことで新しい活力をもらえ、お互いに感動を享受することが出来る素晴らしいものです。会員のネットワークもしっかりしており、初めての方でも安心して取り組むことができます。本年はさらに受け入れ人数が大幅に増える見込みです。受け入れられる体験内容は、各家の簡単な農業体験でも構いません。一緒に修学旅行生を受け入れてみませんか。

受け入れ農家は随時募集中です。お気軽にお問い合わせください。

【問合先】=本庁観光・シティセールス課 ☎(23)5111(内線4382)